

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2024 年度 第 1 回 高大連携委員会
議事次第

日 時：2024 年 5 月 8 日（水）13:00～14:00

場 所：オンライン Zoom

委員校：関西国際大学（委員長校）・神戸親和大学（副委員長校）

関西学院大学、関西学院短期大学、甲南大学、神戸大学、神戸学院大学

神戸松蔭女子学院大学、神戸常盤大学、頌栄短期大学、園田学園女子大学

園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学

計 15 校

I. 開会

1. 委員長校・副委員長校挨拶
2. 委員紹介 (資料 1)
3. 大学コンソーシアムひょうご神戸について (資料 2)

II. 協議事項

1. 2024 年度事業計画（詳細）・予算について (資料 3)
2. その他

III. 報告事項

1. 2023 年度事業について (資料 4)
 - ・ひょうご高校大学コンソーシアム
 - ・「高大連携事業 HP」情報提供フォーム
2. その他

IV. 懇談事項

1. 2024 年度高大連携委員会事業について (資料 5)
2. その他

V. 連絡・調整事項

1. 定時総会 日時：6 月 5 日（水）15：00～16：30
2. 2024 年度の高大連携委員会開催日程
 - 第 2 回委員会 9 月：2024 年度 タイプ 3 プラットフォーム型申請に向けた実績と自己評価（案）
 - 第 3 回委員会 12 月：2024 年度 自己評価（案）
 - 第 4 回委員会 2 月：2025 年度 事業計画・予算案（案）
 - 第 5 回委員会 3 月：2025 年度 事業報告・決算（案）

以上

<配布資料>

資料 1-1 : 2024 年度 高大連携委員会委員

資料 1-2 : 第 1 回高大連携委員会出席者名簿

資料 2-1 : 2024 年度 正会員一覧

資料 2-2 : 2024 年度 賛助会員一覧

資料 2-3 : 大学コンソーシアムひょうご神戸について

資料 3 : 2024 年度事業計画（詳細）・予算について

資料 4-1 : 2023 年度事業報告・決算

資料 4-2 : 2014～2022 ひょうご高校大学コンソーシアム開催実績

資料 4-3 : ひょうご高校大学コンソーシアム 2023 報告書

資料 4-4 : 「高大連携事業 HP」の情報提供フォーム入力のご依頼

資料 5 : 2024 高大連携委員会 アンケート回答フォーム

参考資料 1 : 大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期（2022～2026）

参考資料 2 : 事業委員会の運営に関する申し合わせ

2024年度大学コンソーシアムひょうご神戸 高大連携委員会 委員

No.	加盟校数	学校名	所属	役職	氏名
1	1	関西国際大学	グローバルコミュニケーション学科	副学長(教授)	芦沢 真五
2		関西国際大学(委員長代理)	観光学科	高大連携室長(准教授)	前田 哲男
3		関西国際大学	入試・広報部	部長	長久保 実
4	2	関西学院大学	入学センター	センター副長 工学部准教授	作元 雄輔
5		関西学院大学	入学センター	課長補佐	椿本 伸明
6	3	関西学院短期大学	入学センター	センター副長 工学部准教授	作元 雄輔
7		関西学院短期大学	入学センター	課長補佐	椿本 伸明
8	4	甲南大学	高大接続推進企画運営委員会	委員長	秋宗 秀俊
9		甲南大学	アドミッションセンター	課長補佐	中島 隆之
10	5	神戸大学	学務部入試課	課長	林 靖博
11		神戸大学	学務部入試課	事務員	黒木 トモロヲ
12	6	神戸学院大学	入学・高大接続センター	所長	佐々木 康人
13		神戸学院大学	入学・高大接続センター	事務部長	松浦 洋一
14	7	神戸松蔭女子学院大学	入試・広報課	副学長兼学長補佐(入試担当)	長谷川 誠
15		神戸松蔭女子学院大学	入試・広報課	次長	小前 正明
16	8	神戸親和大学	アドミッションセンター	センター長	椿 武
17		神戸親和大学	アドミッションセンター事務室	課長	中井 一誠
18	9	神戸常盤大学	口腔保健学科	准教授	上原 弘美
19		神戸常盤大学	入試広報課	課長	竹田 誠
20	10	頌栄短期大学		講師	田中 麻紀子
21		頌栄短期大学	学務部入試課	課員	中塚 詠子
22	11	園田学園女子大学	入試広報部	部長	大野木 位行
23		園田学園女子大学	入試広報部	課長	大河内 敦史
24	12	園田学園女子大学短期大学部	入試広報部	部長	大野木 位行
25		園田学園女子大学短期大学部	入試広報部	課長	大河内 敦史
26	13	兵庫大学	経営企画部入試・広報課	課長代行	椎葉 亮介
27	14	兵庫大学短期大学部	経営企画部入試・広報課	課長代行	椎葉 亮介
28	15	兵庫県立大学	兵庫県立大学	副学長	草薙 真一
29		兵庫県立大学	教育企画部教育企画課	次長兼課長	大河内 理恵子

大学コンソーシアムひょうご神戸 第1回 高大連携委員会 出席者名簿 (2024.05.08)

学校	No	大学名	所属部署	役職名	出席者名(予定)
1	1	関西国際大学	グローバルコミュニケーション学科	副学長(教授)	芦沢 真五
	2	関西国際大学(委員長代理)	観光学科	高大連携室長(准教授)	前田 哲男
	3	関西国際大学	入試・広報部	部長	長久保 実
2	4	関西学院大学	入学センター	センター副長 工学部准教授	作元 雄輔
3	5	関西学院短期大学	入学センター	センター副長 工学部准教授	作元 雄輔
4	6	甲南大学	高大接続推進企画運営委員会	委員長	秋宗 秀俊
	7	甲南大学	アドミッションセンター	課長補佐	中島 隆之
5	8	神戸大学	学務部入試課	課長	林 靖博
6	9	神戸学院大学	入学・高大接続センター	事務部長	松浦 洋一
7	10	神戸松蔭女子学院大学	入試・広報課	次長	小前 正明
8	11	神戸親和大学	アドミッションセンター	センター長	椿 武
	12	神戸親和大学	アドミッションセンター事務室	課長	中井 一誠
9	13	頌栄短期大学	学務部入試課	課員	中塚 詠子
10	14	園田学園女子大学	入試広報部	課長	大河内 敦史
11	15	園田学園女子大学短期大学部	入試広報部	課長	大河内 敦史
12	16	兵庫県立大学	教育企画部教育企画課	次長兼課長	大河内 理恵子

2024年度 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 正会員一覧
 ◆正会員数 36校(29大学、6短期大学・短期大学部、1高等専門学校)

資料2-1

(敬称略)

学校	法人名	大学・学校名	学長・校長	備考
1	独立行政法人国立高等専門学校機構	1 明石工業高等専門学校	土居 信数	
2	芦屋学園	2 芦屋大学	窪田 幸子	
3	大手前学園	3 大手前大学	平野 光俊	
		4 大手前短期大学	福井 洋子	
4	濱名山手学院	5 関西国際大学	濱名 篤	
5	関西金光学園	6 関西福祉大学	加藤 明	
6	関西学院	7 関西学院大学	森 康俊	
		8 関西学院短期大学	碓氷 ゆかり	2024年度新任
7	甲南学園	9 甲南大学	中井 伊都子	
8	甲南女子学園	10 甲南女子大学	秋元 典子	
9	国立大学法人神戸大学	11 神戸大学	藤澤 正人	
10	都築学園	12 神戸医療未来大学	鎌田 積	
11	海星女子学院	13 神戸海星女子学院大学	石原 敬子	
12	神戸学院	14 神戸学院大学	中村 恵	
13	谷岡学園	15 神戸芸術工科大学	松村 秀一	2024年度新任
14	八代学院	16 神戸国際大学	下田 繁則	2024年度新任
15	神戸市公立大学法人神戸市外国語大学	17 神戸市外国語大学	田中 悟	
16	公立大学法人神戸市看護大学	18 神戸市看護大学	江川 幸二	
17	松蔭女子学院	19 神戸松蔭女子学院大学	徳山 孝子	2024年度新任
18	神戸女学院	20 神戸女学院大学	中野 敬一	
19	行吉学園	21 神戸女子大学	栗原 伸公	
		22 神戸女子短期大学	栗原 伸公	
20	親和学園	23 神戸親和大学	松田 恵示	2024年度新任
21	玉田学園	24 神戸常盤大学	濱田 道夫	
22	神戸薬科大学	25 神戸薬科大学	北川 裕之	
23	頌栄保育学院	26 頌栄短期大学	関田 良	
24	園田学園	27 園田学園女子大学	大江 篤	
		28 園田学園女子大学短期大学部	大江 篤	
25	平成医療学園	29 宝塚医療大学	岸野 雅方	
26	弘徳学園	30 姫路大学	郷間 英世	2024年度新任
27	睦学園	31 兵庫大学	河野 真	
		32 兵庫大学短期大学部	河野 真	
28	国立大学法人兵庫教育大学	33 兵庫教育大学	加治佐 哲也	
29	兵庫県公立大学法人	34 兵庫県立大学	高坂 誠	
		35 芸術文化観光専門職大学	平田 オリザ	
30	中内学園	36 流通科学大学	清水 信年	2024年度新任

2024年度 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 賛助会員一覧

資料2-2

◆賛助会員数 45社

	会員名	業種	入会年度	コンソとの連携事業			
				国際交流	学生交流	キャリア	企画運営
1	株式会社 あみだ池大黒	食料品（菓子製造販売）	2022年度		○	○	
2	イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社	海外留学プログラムの販売促進	2023年度			○	
3	株式会社ECC	教育関連	2018年度			○	
4	株式会社池田泉州銀行	普通銀行業務	2018年度			○	
5	エム・シーシー食品株式会社	調理食品専門メーカー	2022年度	○		○	
6	株式会社オークハウス	不動産業	2024年度				
7	大阪中小企業投資育成株式会社	投資育成業	2023年度			○	
8	株式会社学生情報センター	不動産	2007年度			○	
9	株式会社グローパルトラストネットワークス	金融・保険・不動産業	2023年度			○	
10	神戸商工会議所	経済団体	2018年度			○	○
11	神戸トヨペット株式会社	自動車販売	2018年度			○	
12	是川ホンダ販売株式会社	自動車販売、点検、整備、保険等	2024年度				
13	株式会社サンエース	商社・住宅（リフォーム）	2022年度			○	
14	株式会社JTB 神戸支店	旅行業	2018年度	○		○	○
15	株式会社シマブンコーポレーション	鉄鋼卸売	2022年度			○	
16	株式会社シュゼット・ホールディングス	製造業（菓子・パン類）	2023年度			○	
17	新明和工業株式会社	メーカー	2023年度			○	
18	医療法人社団星晶会	医療福祉	2022年度			○	○
19	センコー株式会社 阪神主管支店	物流	2022年度			○	
20	総合警備保障株式会社	サービス業（警備）	2023年度			○	
21	株式会社TAT	商社	2016年度			○	○
22	東洋証券株式会社	証券業	2021年度				
23	ナガセケムテックス株式会社	化学メーカー	2022年度		○		
24	株式会社日本ツアーサービス	旅行業	2021年度				
25	日本通運株式会社 大阪支店	陸運業・物流業・倉庫業他	2023年度			○	○
26	日本テクノロジーソリューション株式会社	テクノロジー事業・他	2016年度			○	○
27	株式会社日本ビジネスデータープロセッシングセンター	ITソリューション事業・他	2020年度			○	○
28	株式会社ノーリツ	ガス・石油機器製造	2022年度			○	
29	株式会社ノザワ	製造業（窯業）	2024年度				
30	白鶴酒造株式会社	清酒製造業	2022年度			○	
31	株式会社パソナグループ	総合人材サービス・他	2022年度			○	
32	バンドー化学株式会社	製造業	2019年度			○	○
33	兵庫県経営者協会	経済団体	2020年度			○	
34	富士通Japan株式会社	情報・通信業	2007年度				
35	株式会社ブレックス	運輸業	2018年度			○	
36	丸善雄松堂株式会社	小売業	2007年度			○	○
37	株式会社マルヤナギ小倉屋	食品	2023年度		○		○
38	株式会社みなと銀行	銀行業	2016年度			○	○
39	株式会社山上	商社	2023年度			○	
40	株式会社ヤマシタワークス	製造業	2023年度			○	
41	株式会社立成社	スポーツ・教育	2022年度		○		
42	株式会社レック	冠婚葬祭	2016年度			○	
43	株式会社ロジックアンドサプライズ	外国人材採用支援業・他	2013年度				○
44	株式会社ロック・フィールド	食料	2016年度			○	
45	和田興産株式会社	不動産業	2017年度			○	○

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

設立

2006年6月12日（2016年4月1日 一般社団法人を設立）

正会員

36校（29大学、6短期大学・短期大学部、1高等専門学校）

賛助会員

45社

特別会員

1団体（独立行政法人 日本学生支援機構）

学生数

約11万人

趣旨

国際性を中核に、兵庫県の特性をいかし、教育水準の向上と地域振興に貢献

事業

国際交流、学生交流、教育連携、キャリア
 高大連携、FD・SD事業を中心に、
 大学間連携、産官学連携を展開

外部
環境内部
環境

設立の趣旨（目的）「県下すべての大学による、すべての大学のためのコンソーシアム」
 “国際性”を中核に、兵庫県及び神戸市の特性を活かしながら、高等教育機関が地域に不可欠な存在となることを目指して、教育・研究の充実と地域の行政や産業界との連携を図る。
地域社会の教育・文化の向上・発展に貢献し、あわせて教育環境の向上に寄与する。

コンソの目指す姿 「Diversity, Equity & Inclusion」
 ～多様なメンバーが 学校を超えて フラットに学び合い 繋がる～

ビジョン

大学間連携・産官学連携で「人が繋がり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

戦略

①情報共有と発信 ②人的交流の促進 ③ステークホルダーとの有機的連携

柱1

地域活性化
に資する
人材育成

柱2

グローバル
教育支援

柱3

多学的学び
の提供

柱4

運営体制の
構築

目指す姿・ビジョン・戦略を実現するための 組織経営

事業委員会運営

委員長校・副委員長校・委員校

ひょうご産官学連携協議会

自治体・経済団体

事務局運営

14名(4種の雇用形態)・可能性をつなぐ♪

財政

 加盟校・賛助会員・特別会員
 （収入 約2000万円）

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画第Ⅱ期 基本方針・概要図

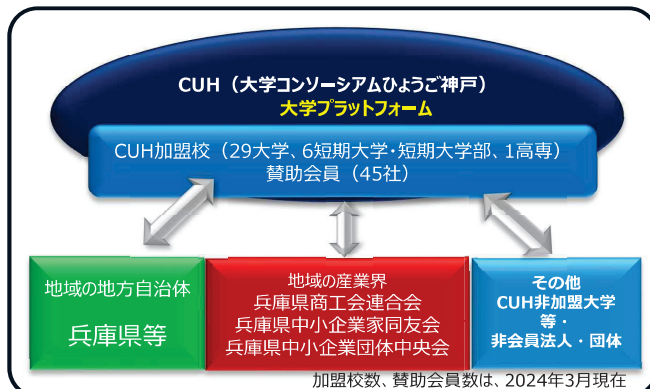
【基本方針】

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の中長期計画Ⅰ期（2017年4月1日～2022年3月31日）における取組内容とその成果を発展的に継承して、中長期計画Ⅱ期（2022年4月1日～2027年3月31日）を策定する。
さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多角的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多角的な教育活動に寄与する計画とする。

【ビジョン・目標】 大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

- ・自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発する。
- ・人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、地域と大学の魅力を県内外に発信する。
- ・大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる活動を展開する。

プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



【取り組みの概要】

- 1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携**
 - ① 地域の活性化のための県内企業就職率の向上（加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携）
 - ② 県内大学と高校間の連携による円滑な高大接続
 - ③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進
- 2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援**
 - ④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
 - ⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進
- 3. 県内大学の教育・研究の質を高める多角的学びの提供**
 - ⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
 - ⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
 - ⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進
- 4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築**
 - ⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
 - ⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備

参考：大学コンソーシアムひょうご神戸 ホームページ <http://www.consortium-hyogo.jp/sankangaku/index.html>

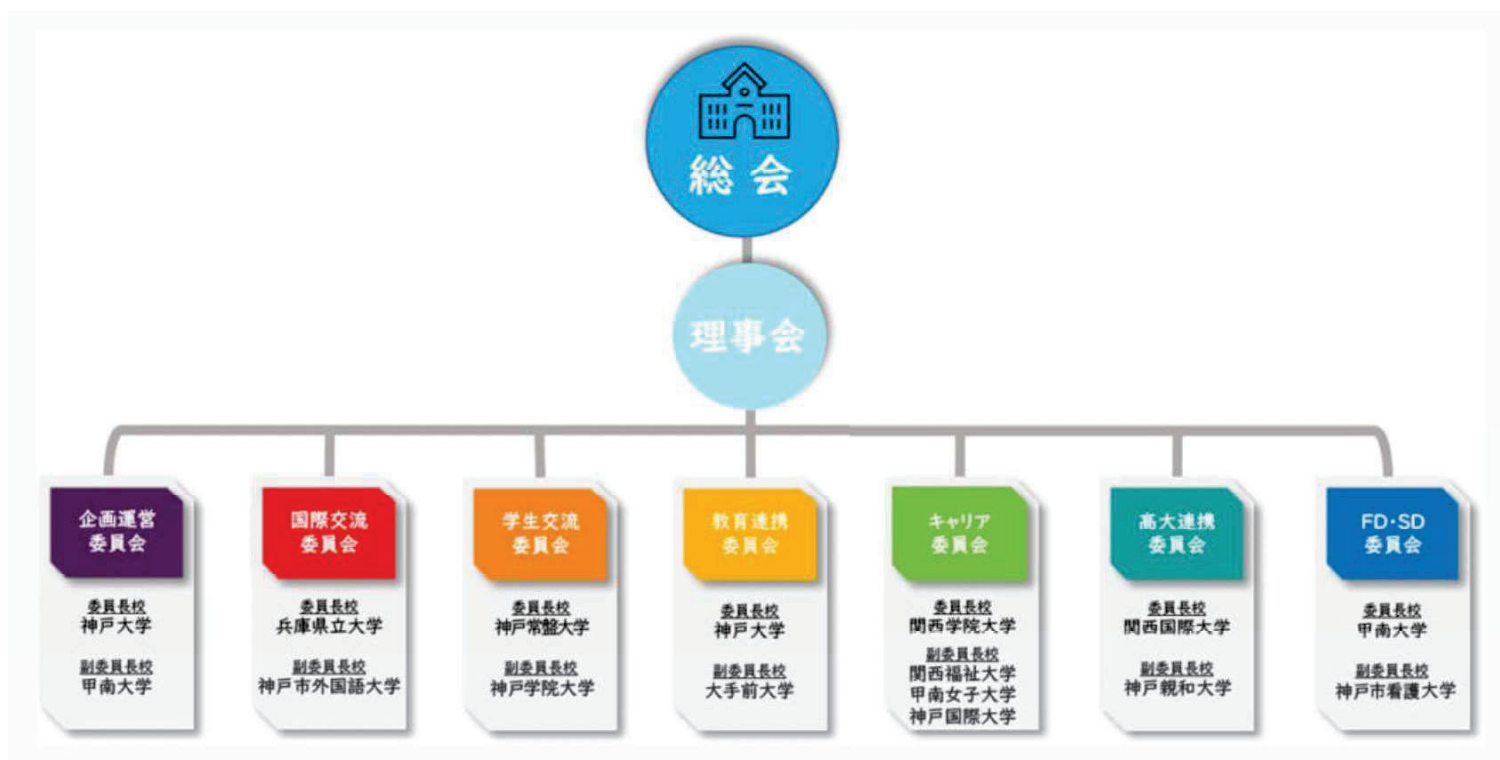
© Presentation Design

中長期計画Ⅱ期（2022年度～2026年度）の柱と課題 ＜2024年度＞

「4つの柱」に基づいて、「10課題・20取組」を7委員会（国際交流、学生交流、教育連携、高大連携、キャリア、FD・SD、企画運営）において実施

柱	課題	取組	委員会
1 地域活性化に資する 人材育成のための連携	1 地域の活性化のため 県内企業への就職率の向上	取組1-1 「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プログラム	キャリア
		取組1-2 「尼崎市」大学生等向け職場体験事業	キャリア
		取組1-3 県内企業・団体等の魅力を情報発信	キャリア
	2 県内大学と高等学校間の 連携による円滑な高大接続	取組1 大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」	高大連携
		取組2 加盟校の魅力を情報発信	高大連携
	3 大学の枠を超えた学生間の 交流・活動促進	取組1 テーマ型の学生交流プロジェクト「WILL BEプロジェクト」	学生交流
2 “ひょうご神戸”の 国際性を生かした グローバル教育支援	4 外国人留学生の受け入れ体制 の強化・定着促進	取組1-1 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	キャリア
		取組1-2 「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業	キャリア
	5 外国人留学生と日本人学生等 の交流促進	取組1 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施	国際交流
		取組2 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業	国際交流
	6 大学教職員の研修機会の提供 と交流の促進	取組1 加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	FD・SD
		取組2 FD・SD情報交換会、セミナー等の開催	FD・SD
3 県内大学の 教育・研究の質を 高める 多角的学びの提供	7 大学間連携による多様な 教育ニーズへの対応	取組1 単位互換事業	教育連携
		取組2 多様な学修機会の提供	教育連携
	8 県内大学を活用した 社会人の学びなおしの推進	取組1 リカレント教育の普及促進に向けた取組	企画運営
		取組2 加盟校のリカレント教育に関する情報発信	企画運営
	9 大学資源を活用する 地域プラットフォームの形成	取組1 大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築	企画運営
		取組2 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	企画運営
4 県内大学が活性化 する 大学間連携組織 としての 運営体制の構築	10 県内大学が活性化する 事業運営体制の整備	取組1 加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	企画運営

大学コンソーシアムひょうご神戸 組織図



加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

* 事業委員会の運営に関する申し合わせから抜粋

3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

(1) 任期は2年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないよう配慮する。

(2) **国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選択制とし、キャリア委員会及びFD・SD委員会の委員長校の選考は輪番制とする。**

(3) 6事業委員会の副委員長校の選考は、選択制とする。

(4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選択制】

① 選択制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選択することとする。

② 事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・ 輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

2023年～2025年の事業委員会 委員長校・副委員長校

中長期計画		I 期	II 期				III 期
役員改選期		第3期	第4期		第5期		第6期
事業委員会体制(案)		2年間	1年間	3年間(1年間+2年間)		2年間	
		2020・2021	2022	2023	2024	2025	2026 2027
国際交流委員会	委員長校	神戸大学	兵庫県立大学	兵庫県立大学			
	副委員長校	神戸市外国語大学・神戸常盤大学	神戸市外国語大学	神戸市外国語大学			
学生交流委員会	委員長校	神戸親和女子大学	神戸常盤大学	神戸常盤大学			
	副委員長校	甲南大学	神戸親和女子大学	神戸学院大学★			
教育連携委員会	委員長校	兵庫県立大学	神戸大学	神戸大学			
	副委員長校	大手前大学・兵庫医療大学	大手前大学	大手前大学			
高大連携委員会	委員長校	関西国際大学		関西国際大学			
	副委員長校	神戸松陰女子学院大学	甲南大学・神戸松陰女子学院大学	神戸親和大学★			
キャリア委員会	委員長校	関西学院大学		関西学院大学		神戸学院大学★	
	副委員長校	関西福祉・甲南女子大学・神戸国際大学		関西福祉大学・甲南女子大学・神戸国際大学			
FDSD委員会	委員長校	神戸学院大学		甲南大学★		神戸親和大学★	
	副委員長校	兵庫大学・神戸薬科大学		神戸市看護大学★			

★変更大学

キャリア委員会、FD・SD委員会の輪番制について

任期	キャリア委員会	FD・SD委員会
第6期（2026-27）	神戸学院大学	神戸親和大学
第7期（2028-29）	甲南大学	関西学院大学
第8期（2030-31）	関西国際大学	神戸学院大学
第9期（2032-33）	神戸常盤大学	神戸市外国語大学
第10期（2034-35）	神戸市外国語大学	神戸常盤大学
第11期（2036-37）	兵庫県立大学	神戸市看護大学
第12期（2038-39）	神戸市看護大学	神戸大学
第13期（2040-41）	神戸大学	関西国際大学
第14期（2042-43）	神戸親和大学	兵庫県立大学

備考：第15期以降は、状況の変化も想定されるため、第14期の理事校で決定する。

【2024年度 高大連携委員会 事業計画】(案)

委員長校	関西国際大学
副委員長校	神戸親和大学
委員校 (全:15校)	関西学院大学、関西学院短期大学、甲南大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸松蔭女子学院大学 神戸常盤大学、頤栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学 兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続
取組1	大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高校大学コンソーシアム」
達成目標	各年参加校数20校以上
活動指標	意見交換会等の実施/年1回以上
取組2	加盟校の魅力を情報発信
達成目標	各年情報提供先数 高等学校等200校以上
活動指標	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載 アンケート等の実施/年1回以上

目的

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題②】県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続
上記の体制の構築並びに、必要な新規のプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

課題②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続		
予算額	取組1	大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高校大学コンソーシアム」 200,000円
	取組2	加盟校の魅力を情報発信 300,000円

期待される効果

- 大学と高等学校の意見交換会の実施
兵庫県立高等学校と設置した意見交換の場「ひょうご高校大学コンソーシアム」を継続的に開催していくことにより、県下大学と高校の高大連携をめぐる多くの課題を共有し、県内大学と高校における教育の連携を通じた人材育成の取り組みを促進する。大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築が期待できる。
- 加盟校の魅力を情報発信
高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と大学で主体的に学び続ける意欲を高める効果が期待できる。

【2024年度 高大連携委員会 事業計画(②取組1)】

課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続	
達成目標	各年参加校数20校以上	
課題を解決する 取組概要	大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」	
活動指標	意見交換会等の実施/年1回以上	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
「ひょうご高校大学コンソーシアム」の開催 兵庫県下の県下高等学校・教育委員会・加盟校との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催する。 ・県下大学と高校の高大連携をめぐる具体的な課題を共有し、県内大学と高校における教育の連携を通じた人材育成の取り組みを促進する。 ・2016年から実施している本取組を継続開催することで、大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築を図る。		
達成目標に対する実績		
活動指標に対する実績		
自己評価基準:対到達目標 ※		—
自己評価基準:対継続性 ※		—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
200,000円				
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※
自己評価基準:対到達目標

4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った

※
自己評価基準:対継続性

4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

【2024年度 高大連携委員会 事業計画(②取組2)】

課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続	
達成目標	各年情報提供先数 高等学校等200か所以上	
課題を解決する 取組概要	加盟校の魅力を情報発信	
活動指標	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載・アンケート等の実施/年1回以上	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
県内大学等の情報提供の実施 高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。 さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と、主体的に学び続ける意欲を高めるべく、合同進学説明会、アンケートの実施や、大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページに「オープンキャンパス」「まなび発見マップ」「探究学習」「学園祭」等の情報を掲出する。		
達成目標に対する実績		
活動指標に対する実績		
自己評価基準:対到達目標 ※		—
自己評価基準:対継続性 ※		—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
300,000円				
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※ 自己評価基準:対到達目標	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※ 自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 高大連携委員会 事業予算】(案)

(単位:円)

		予算	各プログラム 予算				委員会 予算	
			取組1		取組2			
			大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」		加盟校の魅力を情報発信			
			内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額
収入	会費収入	600,000		200,000		300,000		100,000
	助成事業収入							
	受託事業収入							
	プログラム収入							
	雑収入							
	戻入金							
	計	600,000	200,000		300,000		100,000	
支出	会議費	10,000					お茶代等	10,000
	旅費交通費	30,000	交通費	20,000			旅費交通費	10,000
	通信運搬費	100,000			通信費等	90,000	通信運搬費等	10,000
	消耗品費	15,000	消耗品	5,000			消耗品	10,000
	新聞図書費	10,000					参考図書	10,000
	印刷製本費	35,000			チラシ等	35,000		
	光熱水料費	0						
	賃借料	35,000	会場費	35,000				
	保険料	0						
	謝金	315,000	謝金	140,000	謝金	175,000		
	租税公課	0						
	支払手数料	10,000					振込手数料	10,000
	諸会費	10,000					フォーラム等参加費	10,000
	委託費	30,000					各プログラムHPIに係る 予備費	30,000
	人件費	0						
	接待交際費	0						
	支払支援金	0						
	雑費	0						
	計	600,000	200,000		300,000		100,000	

収入－支出	0
-------	---

【2023年度 高大連携委員会 事業報告】(案)

委員長校：関西国際大学

副委員長校：神戸親和大学

委員校：関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、
神戸松蔭女子学院大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、
園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、
兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学 計18校

<目的>

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題②】県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続

上記の体制の構築並びに、必要な新規のプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

<内容>

取組課題②に対する「個別取組」は、下記の通り。

1. 大学と高等学校の意見交換会の実施

教育委員会等と連携して、兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行う。

2. 加盟校の魅力を情報発信

加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。

生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。

上記の取組について、運営体制の構築と推進は、中長期計画Ⅱ期5カ年において段階的に取り組む。

期中において新規事業やプロジェクト企画の必要性がある場合は、本委員会にて検討して事業推進を行う。

<期待される効果>

1. 大学と高等学校の意見交換会の実施

兵庫県立高等学校と設置した意見交換の場「ひょうご高校大学コンソーシアム」を継続的に開催していくことにより、県下大学と高校の高大連携をめぐる多くの課題を共有し、県内大学と高校における教育の連携を通じた人材育成の取り組みを促進する。大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークを構築が期待できる。

2. 加盟校の魅力を情報発信

高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と大学で主体的に学び続ける意欲を高める効果が期待できる。

課題② 県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続		予算額
取組1	大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」	200,000円
取組2	加盟校の魅力を情報発信	300,000円

【2023年度 高大連携委員会 事業報告(②取組1)】(案)

【②取組1】達成目標	各年参加校数20校以上
【②取組1】活動指標	意見交換会等の実施/年1回以上

課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続			
達成目標 【②取組1】	各年参加校数20校以上			
課題を解決する 取組概要 【②取組1】	大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」			
活動指標 【②取組1】	意見交換会等の実施/年1回以上			
内容 (結果)	高大連携・高大接続をめぐる今日的な課題について、兵庫県下の高等学校・教育委員会・コンソ加盟校が相互理解と人的ネットワークの構築を図るべく、定期的に行っている意見交換会「ひょうご高校大学コンソーシアム」を12月に開催した。2021年度より学習指導要領にて導入された「総合的な探究の時間」の現状と選抜をテーマに、大学と高校の現状や課題を共有した。今年度はオンライン開催だけでなく対面会場も設けて、小グループに分かれての意見交換も行い、高校と大学教職員間の相互理解と人的ネットワークの構築に寄与する機会となった。 加盟校20校、高等学校34校の計54校が参加し、活動指標・活動目標をともに達成した。 ■ひょうご高校大学コンソーシアム 「高大連携と選抜・探究学習について～社会で活躍できる人材育成に向けて」 開催日：2023年12月11日（月）13:30～16:30 会場：対面（兵庫国際交流会館）・オンライン併用 対象：兵庫県下の高校教職員・加盟校教職員 内容：基調講演と意見交換会の2部制 ＜第1部＞基調講演 講師：株式会社Brain 代表取締役社長 神戸 壽 様 ＜第2部＞高校と大学の意見交換会 1) 1部基調講演を踏まえて、企業・高校・大学の連携による課題解決に向けた意見交換。 2) 大学選抜の事例紹介（総合型選抜等で入試制度に「探究学習」の成果を対象とする加盟校） 参加者数：総計83名（対面72名、オンライン11名。高等学校34校49名、加盟校20校27名、兵庫県教育委員会1、企業1、コンソ事務局5） ※加盟校内訳は以下の通り。20校27名。大手前大学/大手前短期大学(3)・関西国際大学(5)・関西学院大学(1)・甲南大学(4)・甲南女子大学(1)・神戸大学(2)・神戸学院大学(1)・神戸松蔭女子学院大学(1)・神戸女子大学/神戸女子短期大学(2)・神戸親和大学(2)・神戸常盤大学/神戸常盤短期大学部(1)・神戸薬科大学(1)・頌栄短期大学(1)・園田学園女子大学/園田学園女子大学短期大学部(1)・兵庫大学/兵庫大学短期大学部(1)			
新しい試み等 (事業計画に記載)	兵庫県内の高校教育、大学教育の一体的な連携に取り組むべく、社会で活躍する人材育成の観点から、初めて地元企業経営者を交えた意見交換会を実施する。			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	200,000円	165,601円	34,399円	

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	2014年度から兵庫県高等学校校長会ならびに兵庫県教育委員会と連携を続けながら、高校と大学の教職員が一同に会して、今日的な高大接続や高大連携の課題について、率直な意見交換を継続していることは、高校と大学の教職員の相互理解を深める観点でも貴重な機会となっている。2023年11月現在、本プログラムは、当初計画通りに進行しており、継続すべきと考える。			
■自己評価基準 (対到達目標)	4: 当初計画を上回って達成 3: 当初計画を達成 2: 当初計画をやや下回った 1: 当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性)	4: 本プログラムは継続すべき 3: 本プログラムは継続しても良い 2: 本プログラムの継続には改善が必要 1: 本プログラムは中止すべき	
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	2014年度から兵庫県高等学校校長会ならびに兵庫県教育委員会と連携を続けながら、高校と大学の教職員が一同に会して、今日的な高大接続や高大連携の課題について、率直な意見交換を継続していることは、高校と大学の教職員の相互理解を深める観点でも貴重な機会となっている。2023年11月現在、本プログラムは、当初計画通りに進行しており、継続すべきと考える。			

【2023年度 高大連携委員会 事業報告(②取組2)】(案)

【②取組2】達成目標	各年情報提供先数 高等学校等200か所以上
【②取組2】活動指標	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載・アンケート等の実施/年1回以上

課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続
達成目標【②取組2】	各年情報提供先数 高等学校等200か所以上
課題を解決する取組概要【②取組2】	加盟校の魅力を情報発信
活動指標【②取組2】	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載・アンケート等の実施/年1回以上

内容 (結果)	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページ上に「高大連携事業」の情報を集約するページを設置し、運用を開始した。同時に、加盟校情報(学部学科情報・オープンキャンパス・学園祭・探究学習)を高校生・教職員・保護者等が閲覧しやすい様式に改修し、広く一般公開した。 さらに、兵庫県下高等学校に向けて加盟校の魅力、選抜に関して理解促進を図るべく、兵庫県教育委員会後援でのひょうご高校大学コンソーシアムの実施、兵庫県下を通じての「探究学習と選抜」に関するアンケートならびに「ひょうご高校大学コンソーシアム開催周知をいただくなど、本取組の活動指標・活動目標をともに達成した。 ■大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載 1)「まなび発見マップ」(学部・学科情報) 加盟校の学部・学科情報を2022年度までは一覧表のみで案内・掲出していたが、「分野」、「大学名」、「フリーワード」による情報検索システムを導入し、学びたい内容から加盟校の情報を確認できるように改善・工夫した。 2)「オープンキャンパス」情報 2022年度までは大学等の「オープンキャンパス情報」の一覧表のみで案内・掲出していたが、今年度は一覧表に加えて、月毎にGoogleカレンダーで個別確認ができるように改善・工夫した。 3)「学園祭」情報 2022年度までは大学等の「オープンキャンパス情報」の一覧表のみで案内・掲出していたが、今年度は一覧表に加えて、月毎にGoogleカレンダーで個別確認ができるように改善・工夫した。 4)「知りたい！探究学習」 高大連携において探究学習の支援に取り組む加盟校を紹介する項目を新たに設定した。 ■アンケートの実施 ・加盟校対象：入試と探究に関するアンケート、ひょうご高校大学コンソーシアム「事前アンケート」 ・高等学校対象：ひょうご高校大学コンソーシアム「事前アンケート」			
新しい試み等 (事業計画に記載)	高大連携に関する情報共有の一環として、ホームページでの掲出方法やデザインを改善し、生徒が加盟校の情報をより分かりやすく得られるようにした。加えて、2022年度高等学校学習指導要領に「総合的な探究の時間」導入されたことから、「探究学習」に関する加盟校の情報も新たに掲載。			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	300,000円	236,639円	63,361円	

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	高校と大学の学びの接続、教育の連携の観点から、高校・高校生等に加盟校の特徴を広く情報提供することは、重要な課題と考える。コンソーシアムホームページ上での加盟校の情報発信等は、次年度以降も継続する必要があると考える。			

■自己評価基準
(対到達目標)

4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	高大連携に関する情報共有の一環として、ホームページの掲出方法やデザインを改善し、生徒が加盟校の情報をより分かりやすく得られるようにした点は評価できる。今後は、高校並びに高校生に情報が伝わりやすい仕組みや方法を検討の上、次年度以降も継続していきたい。
----------------------------	---

2023年度 高大連携委員会 事業決算(案)

(単位:円)

		予算額	決算額	各プログラム 予算・決算						委員会 予算・決算		
				取組1			取組2					
				大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」			加盟校の魅力を情報発信					
				内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額
収入	会費収入	600,000	482,735		200,000	165,601		300,000	236,639		100,000	80,495
	助成事業収入	0	0									
	受託事業収入	0	0									
	プログラム収入	0	0									
	雑収入	0	0									
	戻入金	0	0									
	計	600,000	482,735		200,000	165,601		300,000	236,639		100,000	80,495
支出	会議費	10,000	29,800	講師等弁当代		29,800				お茶代等	10,000	
	旅費交通費	30,000	5,990	交通費	20,000	5,990				旅費交通費	10,000	
	通信運搬費	100,000	42,634				通信費等	90,000	16,639	通信運搬費等	10,000	25,995
	消耗品費	15,000	116,056	消耗品	5,000	73,161				消耗品	10,000	42,895
	新聞図書費	10,000	6,510							参考図書	10,000	6,510
	印刷製本費	35,000	44,000				チラシ等	35,000	44,000			
	光熱水料費	0	0									
	賃借料	35,000	10,450	会場費	35,000	10,450						
	保険料	0	0									
	謝金	315,000	46,200	謝金	140,000	46,200	謝金	175,000	0			
	租税公課	0	0									
	支払手数料	10,000	1,595							振込手数料	10,000	1,595
	諸会費	10,000	3,500							フォーラム等参加費	10,000	3,500
	委託費	30,000	176,000				HP更新費		176,000	各プログラムHPIに係る 予備費	30,000	
	人件費	0	0									
	接待交際費	0	0									
	支払支援金	0	0									
	雑費	0	0									
	計	600,000	482,735		200,000	165,601		300,000	236,639		100,000	80,495
収入－支出		117,265										

「ひょうご高校大学コンソーシアム」

2014 年度～2022 年度(平成 26 年度～令和 4 年度)開催内容について

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

●2014 年度(平成 26 年度)「ひょうご高校大学コンソーシアム」初開催

兵庫県教育委員会と連携した取組として、高校と大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校による初めての意見交換会「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催。高校教育、大学教育の一体的な高大連携のため、県下の高等学校、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校、兵庫県教育委員会が連携して、高大連携・高大接続をめぐる多くの課題について継続的に意見を交換し、協力して様々な課題に取り組むこととなった。

○日時・場所:2014 年 11 月 25 日(火)14:00～16:00・兵庫県立大学神戸商科キャンパス

○参加者 53 名(高校 22 校 23 名、加盟校 25 校 29 名、コンソ事務局 1 名)

●2015 年度(平成 27 年度)「円滑な高大高大連携に向けて」講演会

講師:文部科学省 高等教育局 主任大学改革官 新田正樹

大学入試センター試験・研究統括官 教授 大塚雄作

日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 副主幹 南浩司

○日時・場所:2016 年 2 月 2 日(火)13:30～16:30・兵庫国際交流会館

○参加者 100 名(高校 41 校 47 名、加盟校 15 校 36 名、他 17 名)

●2016 年度(H28 年度)「高大接続改革の行方」

1.講演「高大接続改革の行方」関西国際大学 学長 濱名篤

2.グループに分かれての意見交換

・高校教育の現状・高大接続教育、高校の授業、大学の授業の在り方・大学の入学前教育

・大学での授業の受講(高校での単位認定と大学での単位認定)・大学教育への期待

・大学入試改革・その他、高大連携に関すること

3.「文部科学省大学入学者選抜改革推進委託事業(主体性等分野)について」のご案内

話題提供者:関西学院大学 高大接続センター 課長補佐 山田高幹

4.各グループ意見交換内容の発表

○日時・場所:2017 年 3 月 7 日(火)14:00～17:00・兵庫国際交流会館

○参加者 52 名(高校 24 名、加盟校 25 名、コンソ事務局 3 名)

●2017 年度(H29 年度)「新学習指導要領と高大接続について」

1.講演「新学習指導要領と高大接続について」

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教育課程企画室 室長 白井俊

2.グループに分かれての意見交換

①大学入学者選抜方法の変更による中等教育(高等学校教育)への影響と大学における入試改革

②新学習指導要領が高等学校や大学の教育に及ぼす影響

- ③学習評価の改善方法(多面的総合的評価におけるポートフォリオ(キャリアノート)の活用など)
 - ④アクティブラーニングの導入およびその授業実践
 - ⑤「出前授業」等の大学の授業の受講
(高校在学時に大学の授業を受講することの有意性、受講時の問題)
 - ⑥「教育の情報化」と新しい情報技術を活用した教育
 - ⑦大学が入学予定者に対して行う準備教育(入学前教育)の内容
- 日時・場所:2017 年 12 月 26 日(火)13:30~17:00・関西国際大学尼崎キャンパス
- 参加者 80 名(高校 32 名、加盟校 46 名、コンソ事務局 2 名)

●2018 年度(H30 年度)「2021 年度入学者選抜要綱の見直しへの対応についての意見交換会」

- 1.意見交換会(2つのグループに分かれて、テーマ別に高校と大学間で意見交換)
- グループⅠ「一般選抜」
- ①「学力検査」と学力の三要素の多面的・総合的な評価の方法
 - ② 英語の4技能評価のための外部試験の活用③出願書類等とその選抜への活用
- グループⅡ「総合型」および「学校推薦型」選抜
- ① 調査書、推薦書など出願書類とその選抜への活用
 - ②本名の記載する書類とその選抜への活用③「学力検査」などによる学力の評価方法
- 2.意見交換の報告およびパネルディスカッション(質疑応答)
- 「出願書類等のフォーマット共通化について」
- パネリスト 三木高等学校 校長 前田哲男、播磨高等学校 教頭 家氏宏育、
 兵庫医療大学 教授 日高正巳
- コーディネーター 関西国際大学 副学長 浅野考平
- 日時・場所:2018 年 10 月 16 日(火)15:00~18:00・兵庫国際交流会館
- 参加者 70 名(高校 37 名、加盟校 30 名、コンソ事務局 3 名)

●2019 年度(平成 31 年・令和元年度)「2021 年度大学入学者選抜改革の行方と新学習指導要領について」

- 1.講演「2021 年度大学入学者選抜改革の行方と新学習指導要領について」
独立行政法人大学入試センター 試験・研究統括補佐官(兼)審議役 白井俊
 - 2.パネルディスカッション
- 日時・場所:2019 年 3 月 10 日(火)15:00~18:00・兵庫国際交流会館 3 階多目的ホール
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

●2020 年度(令和 2 年度)「コロナ禍における学びと教育現場の対応について」

- 1.講演「高大接続に関わる立場から見える、コロナ禍における学びと教育現場の課題」
NPO 法人 NEWVERY 理事 倉部史記
 - 2.意見交換(コロナ禍における学びと教育現場の対応について)
- 日時・場所:2021 年 2 月 25 日(木)15:00~17:00・オンライン会議システム(ZOOM)
- 参加者 25 名(高校 7 校 7 名、加盟校 9 校 14 名、他 1 名、コンソ事務局 3 名)

●2021 年度(令和 3 年度)「『探究』を教育活動で展開するにはどうしたらよいのか」

1.講演「『探究』を教育活動で展開するにはどうしたらよいのかー東京の 6 年制私立中高の実践から」

関西国際大学 准教授 元品川女子学院 教頭 石井豊彦氏

2.「探究学習と高大連携」の取り組みに関する話題提供と意見交換

(話題提供校・提供者)加盟校 3 校・県立高等学校 3 校

■「兵庫大学の探究学習パッケージ」兵庫大学 高等教育研究センター 岩田薫

■「探究学習と高大連携について」神戸大学 教授 伊藤真之

■「高大連携と探究学習」関西国際大学 学長補佐 教授 福島一政

■「総合的な探究の時間について」尼崎稲園高等学校 教諭 福舩幸一・湊谷宗行

■「学校全体での「探究学習」の取り組み～大学への期待!!」尼崎小田高等学校 教諭 福田秀志

■「探究学習」三木北高等学校 教諭 仁木英貴

○日時・場所:2021 年 12 月 9 日(木)13:30～16:30・オンライン会議システム(ZOOM)

○参加者 45 名(高校 17 校 21 名・加盟校 16 校 20 名、兵庫県教育委員会 1 名、コンソ事務局 3 名)

●2022 年度(令和 3 年度)「『探究』を教育活動で展開するにはどうしたらよいのか」

1.講演「高校『探究活動』」の設立の経緯と研究者の実際の研究課程の分析に基づく

理科の探究の指導法の改善課題」甲南大学 理工学部 地学研究室 教授 林慶一

2.「探究学習と高高大連携」の取り組みに関する話題提供と意見交換

(話題提供校・提供者)加盟校 2 校・県立高等学校 2 校

■神戸大学 高大接続卓越グローバル人材育成センター 教授 伊藤真之

■関西国際大学 高大連携センター長 前田哲男

■福崎高等学校 校長 齋藤勝

■姫路東高等学校 教諭 菅生智文

ファシリテーター 甲南大学 高大接続推進企画運営委員長 茶山健二

○日時・場所:2022 年 12 月 12 日(月)13:30～16:30・オンライン会議システム(ZOOM)

○参加者 64 名(高校 14 校 17 名、加盟校 20 校 42 名、兵庫県教育委員会 2 名、コンソ事務局 3 名)

※敬称略、文中の所属・役職等はすべて開催当時のものです

以上

2023 年度ひょうご高校大学コンソーシアム 2023

高大連携と選抜・探究学習について～社会で活躍できる人材育成に向けて～実施報告書

主催：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

1. 日時：2023 年 12 月 11 日（月）13:30～16:30
2. 場所：兵庫国際交流会館 兵庫県神戸市中央区脇浜町 1 丁目 2-8
3. 対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校・兵庫県下高等学校教職員
4. 参加者：総計 83 名（対面 72 名、オンライン 11 名）

教職員 54 校 76 名（加盟校 20 校 27 名・高校 34 校 49 名）

【加盟校】20 校 27 名

（内訳）大手前大学/大手前短期大学(3)・関西国際大学(5)・関西学院大学(1)・甲南大学(4)・甲南女子大学(1)・神戸大学(2)・神戸学院大学(1)・神戸松蔭女子学院大学(1)・神戸女子大学/神戸女子短期大学(2)・神戸親和大学(2)・神戸常盤大学/神戸常盤短期大学部(1)・神戸薬科大学(1)・頌栄短期大学(1)・園田学園女子大学/園田学園女子大学短期大学部(1)・兵庫大学/兵庫大学短期大学部(1)

【高校】34 校 49 名

（内訳）兵庫県立高等学校 28 校：明石北高等学校(4)、明石清水高等学校(2)、明石城西高等学校(1)、明石西高等学校(1)、生野高等学校(1)、伊丹北高等学校(3)、小野高等学校(1)、加古川東高等学校(1)、神崎工業高等学校(1)、香寺高等学校(1)、神戸高等学校(1)、神戸甲北高等学校(1)、篠山産業高等学校(2)、篠山東雲高等学校(1)、佐用高等学校(1)、三田西陵高等学校(1)、飾磨工業高等学校 多部制(1)、青雲高等学校(1)、宝塚高等学校(1)、宝塚北高等学校(3)、須磨友が丘高等学校(1)、西脇工業高等学校(3)、東灘高等学校(1)、姫路東高等学校(1)、姫路飾西高等学校(1)、兵庫県立大学附属高等学校(2)、三木北高等学校(2)、夢野台高等学校(1)

市立・私立高等学校（兵庫県内） 6 校：尼崎市立琴ノ浦高等学校(1)、伊丹市立伊丹高等学校(1)、神戸市立科学技術高等学校(1)、西宮市立西宮高等学校(2)、神戸龍谷高等学校(1)、三田学園中・高等学校(2)

兵庫県教育委員会…1 名

企業…1 社 1 名 株式会社 Brain(1) * 講師

大学コンソーシアムひょうご神戸事務局…5 名

5. 開催趣旨

兵庫県内の高校教育、大学教育の一体的な連携に取り組むべく、2014 年度より県下高等学校と大学コンソーシアムひょうご神戸（県下 38 校の大学・短期大学・高等専門学校が加盟する大学間連携組織）、兵庫県教育委員会が連携して意見交換会「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催している。

2022 年に高等学校学習指導要領において「総合的な探究の時間」が導入されるにあたり、探究学習と教育活動の課題解決に向けて高校と大学で意見交換を 2 年間、継続開催してきた。

今年度も引き続き「探究学習」を取り上げ、「高大連携と選抜・探究学習について～社会で活躍できる人材育成に向けて～」と題し、高校時代の「探究学習」における生徒の学びが、一歩進んだ将来の進路選択、大学進学後の学生生活、人生とキャリアに与える影響・発展の可能性を具体的な事例をもとに意見交換する。

6. プログラム (13:30~16:30)

開会の挨拶：

- ・大学コンソーシアムひょうご神戸 高大連携委員会 委員長校
関西国際大学 高大連携室長・准教授 前田 哲男 先生
- ・兵庫県立学校長協会 進路指導委員会委員長 伊丹北高等学校 校長 千家 弘行 先生
- ・兵庫県教育委員会 高校教育課 主任指導主事 中村 由利 先生

第1部：基調講演「明日への挑戦」講師：株式会社 Brain 代表取締役社長 神戸 壽 氏

休憩

第2部：高校と大学の意見交換会

1) 話題提供：加盟校より選抜に関する事例紹介（3校・各回10分）

- ・神戸大学 学術研究員・名誉教授 蛸名 邦禎 先生
- ・関西学院大学 入学センター 課長補佐 綾部 有 氏
- ・神戸親和大学 アドミッションセンター課長代行 中井 一誠 氏

2) 小グループでの意見交換会（30分）

7. 内容詳細

■第1部：基調講演「明日への挑戦」

兵庫県西脇市にある地元企業「株式会社 Brain」神戸社長を講師に、人材育成・キャリア形成の観点から高校生の探究学習の魅力や、高校や大学教育に期待することを企業人の立場から講話いただいた。画像認識・AI・業務システムの研究・開発を行う同社では、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の兵庫県立小野高等学校の探究学習の授業において、講義、プログラミング講師、プレゼンの基本、外部講師の紹介等を行っている。講演では、具体的な事例に加えて指導経験から、「生徒の自主性を尊重と放任」の違い、探究の科目については、「生徒の興味のわくテーマ設定が必要である」との見解も述べられた。また、「大学入試においてスポーツ推薦入試のように、探究推薦制度があってもよいのではないか」といった提案もあった。

■第2部：高校と大学の意見交換会

「探究学習」における高校生の学びが進路選択や大学進学後の学生生活、その後のキャリア形成に与える影響、高校・大学・企業の連携等について、参加者間で意見交換会を行った。

最初に、今回のテーマである「高大連携と選抜・探究学習」について、大学側の現状を紹介する話題提供として探究学習の成果を入試制度で評価する仕組みを有する3校が、神戸大学「志特別選抜制度」・関西学院大学「探究評価型入学試験」・神戸親和大学「探究入試」に関して、話題提供を行った。

その後、大学と高校の教職員が6~7人の小グループにわかれて、探究活動や選抜の話題を中心に、高大連携・高大接続の実情について、自由闊達な意見交換を行った。

8. 参加者の感想と考察

事後のアンケート結果より、大学教職員からは「大学と高校が同じ方向を向きたいという感じがした」

「高校、大学関係者が一つのテーマを一緒に考える場を持てた。有意義な議論ができた」、「高等学校の現場の先生の探究に対するお話をお聞かせいただいて、大変勉強になった」との回答があり、高校教員

からは「大学の視点から探究について知ることができた」「今一度、探究の意味や生徒の好奇心について見直し、指導のあり方を考えたい」「基調講演はとても興味深く、話題提供では、探究を利用した入試についての情報や大学及び他校の取り組みを知ることができた」といった意見が挙がった。

また、小グループでの対話では、「具体的な内容について意見交換できた。連携の具体的な話げできた」

「お互いの視点が見え、非常に参考になった」「意見を出し合って終了したので、もう少し時間が欲しかった」等との声が複数寄せられ、高校と大学教職員間での意見交換が求められていることが窺えた。

今後については、引き続き「引き続き高校、大学関係者が探究や入試にかかる意見、情報交換をする場が持てると良い」「時宜を得たテーマを希望する」といった意見が挙がり、次回以降に向けて、加盟校の実例の共有など、開催テーマを教職員の要望を踏まえて検討する。

(以下、参加者アンケート抜粋)

ひょうご高校大学コンソーシアム 2023 (全体) について

(大学)

- 高等学校の現場の先生の探究に対するお話をお聞かせいただき、大変勉強になった。
- 参加者も多く内容のある会になった。が、意見交換の時間がもう少し確保できればなおよかった。
- 公表資料だけでは分かりにくかった点に対する質疑応答をいただけたためよかった。

(高校)

- 高校の先生方が探究活動に込める思いと、大学の方々が考える探究活動について知ることができた。探究は何が成果として得られるか未知であることや、試行錯誤に意味があり、これをすれば入試に有利だということを大学側が示したい訳では無いことが分かり、今一度、探究の意味や生徒の好奇心について見直し、指導のあり方を考えたいと思った。

基調講演(株式会社 Brain 代表取締役社長 神戸壽氏)について

- 非常に面白い話でした。高校生向けの探究活動の様子をもっと詳しく見てみたいと思った。
- 探究に関する提言もあったためよかった。
- 今社会が求めている人材について考察することができた。
- 探究活動を担当する教員に必要なことについて、「生徒の発想を援助する」ということに感銘した。
- チャレンジすることの大切さ、事業を進める上での苦労、人との出会いの大切さなどがとても興味深かった。
- 大変興味深いお話で、引き込まれました。本校の生徒にも聞かせたいと思った。
- 高い視点で指導するべきだということに気づかされた。

質疑応答・意見交換会について

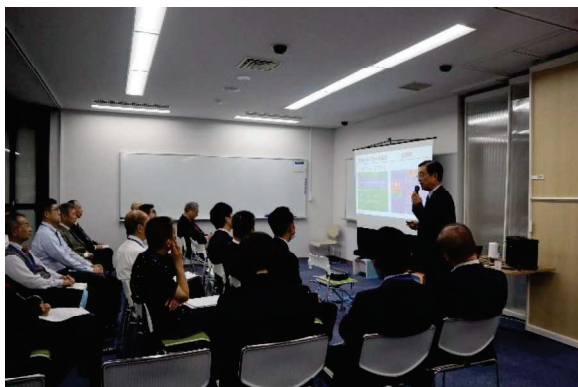
(大学)

- 高校、大学の双方の考えや課題があることがわかることができた。現場の生の声がやはり、皆困惑しているのだと感じた。
- 普通科の探究のことについて理解できた。

(高校)

- 総合型選抜に出願する上での課題や大学側の評価の観点を共有でき、生徒を指導する上で参考となる情報をいただけた。
- 高校はどうしても次の進路に繋がるかどうか探究活動のモチベーションになってしまうが、大学としては、探究は学力の上に成り立つものという考えがあり、入試に合格するための探究という概念がないように感じた。入試の評価が不透明というよりは、未知であるからこそ探究が成り立ち、そもそも評価が難しいものであることを痛感した。

【当日の写真】



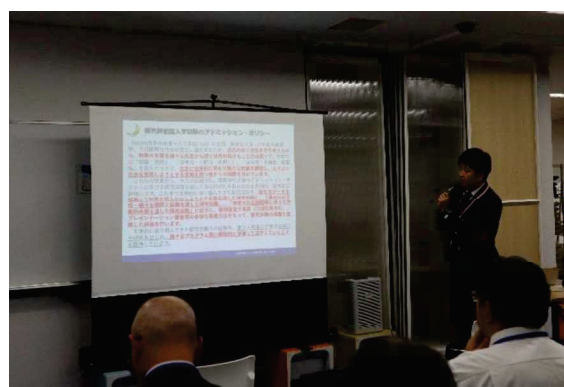
第1部:基調講演の様子①(神戸寿氏)



神戸社長からは探究学習についての提言もあった



第2部:話題提供の様子①(神戸大学)



第2部:話題提供の様子②(関西学院大学)



第2部:話題提供の様子③(神戸親和大学)



小グループでの意見交換会の様子①



小グループでの意見交換会の様子②



小グループでの意見交換会の様子③

以上

「高大連携事業 HP の情報提供フォーム」入力のご依頼

2024 年度の大学コンソーシアムひょうご神戸（以下、「コンソ」という）高大連携事業「加盟校の魅力の情報発信」において、情報更新を行うにあたり以下アンケート回答をお願いいたします。

※1, 2 は全校回答をお願いします。3 は情報提供いただける学校のみ回答をお願いします。

1「学園祭・オープンキャンパス情報」について（必須）

【回答フォーム】

<https://forms.gle/oCVotWQGbh8EGc6p9>

2023 年度情報

（オープンキャンパス）https://consortium-hyogo.jp/kodai/kodai_05/

（学園祭）https://consortium-hyogo.jp/kodai/kodai_04/

2「学び発見 MAP」について（必須）

【回答フォーム】

<https://forms.gle/nS1qYcsACD8kitHz8>

2023 年度情報

（WEB データベース）<https://consortium-hyogo-system.jp/map/search.php>

（PDF）（全大学）【2023】加盟校-学部・学科一覧-2023.pdf

3 知りたい！「探究学習」について（任意）

【回答フォーム】

<https://forms.gle/hhp5qzWkjCnA5sR36>

2023 年度情報 https://consortium-hyogo.jp/kodai/kodai_02/

【イメージ写真】

1「学園祭・オープンキャンパス情報」

Google カレンダー形式（左）と PDF 形式（右）で情報を掲載しています

2「学び発見 MAP」について（必須）

大学コンソーシアムひょうご神戸 加盟校 学部・学科一覧

このサイトは大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の学部・学科を検索しやすくWEB上にデータベース化したものです。ぜひ活用ください。

分野

指定しない

大学名

指定しない

フリーワード

学部・学科一覧

→PDFはこちら

検索

分野	大学名	学部・学科
工学・理工学	明石工業高等専門学校	機械工学科
工学・理工学	明石工業高等専門学校	電気情報工学科
工学・理工学	明石工業高等専門学校	都市システム工学科
建築	明石工業高等専門学校	建築学科
教育	芦屋大学	臨床教育学部教育学科
教育	芦屋大学	臨床教育学部児童教育学科
経営	芦屋大学	経営教育学部経営教育学科
経営	大手前大学	経営学部経営学科
社会	大手前大学	現代社会学部現代社会学科
芸術	大手前大学	建築＆芸術学部建築＆芸術学科
栄養学	大手前大学	健康栄養学部栄養学科
看護	大手前大学	国際看護学部国際看護学科

No. 大学・短期大学名 所在地

1	岡山工業大学	岡山
2	岡山大学	岡山
3	岡山大学	岡山
4	岡山大学	岡山
5	岡山大学	岡山
6	岡山大学	岡山
7	岡山大学	岡山
8	岡山大学	岡山
9	岡山大学	岡山
10	岡山大学	岡山
11	岡山大学	岡山
12	岡山大学	岡山

PDFでも表示可能

[illegible]

WEB データベースで情報を掲載しています。

3 知りたい！「探究学習」について（任意）

知りたい！「探究学習」		
探究学習を推進している加盟校の取組事例を紹介します。 各校にてホームページでの紹介があるところはリンク先を掲載しております。		
学校名	取組と内容	問い合わせ先 ①担当部署②担当者③メールアドレス ④電話番号⑤ホームページ
神戸大学	研究活動に焦点をあてた科学技術人材育成プログラム： 「JSTグローバルサイエンスキャンパス ROOTプログラム」 (兵庫県立大学、関西学院大学、甲南大学と連携) 個々の教員による、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の運営指導教員の担当 高校生の研究発表会の開催及び開催支援	①神戸大学学務部入試課入学試験グループ ②黒木 トモロフ ③stdntnyusi1@office.kobe-u.ac.jp ④078-803-5230 ⑤URL

各校の取組事例とホームページのリンク先を掲載しています。

2024 高大連携委員会 アンケート回答フォーム

2024年度 高大連携委員会 事業計画を実行・取組課題を推進するにあたり、下記についてご意見・ご提案を頂きたく存じます。回答いただきました資料につきましては、集約の上、共有させていただきます。

【締切】2024年5月24日（金）

* 必須の質問です

1。 メールアドレス *

2。 学校名 *

3。 所属・役職 *

4。 ご記入者（お名前） *

5。 電話番号 *

質問1. 【取組1】大学と高等学校の意見交換会の実施について

6。 1-1 「ひょうご高校大学コンソーシアム」の開催（高校と大学の接続をめぐる意見交換による県下の高大連携推進）に向け、取り上げたいテーマがあればお書きください。 *

7。 1-2 上記テーマを挙げた理由・意見交換したいことを自由にお書きください。

質問2. コンソ加盟校の魅力を発信するために「合同進学説明会」を今年度（2024年7月～9月）に開催することについて、ご意見をお聞かせください。

8。 2-1 大学コンソーシアムひょうご神戸の加盟校が「合同」で「進学説明会」を開催するとすれば、参加を希望しますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ A 希望する

☐ B 希望しない

☐ C わからない

☐ その他: _____

9。 2_2 加盟校による「合同進学説明会」のテーマ（内容）・方法をご提案ください。 *

10。 2_3 開催時期・対象者（高校生の場合は学年、教職員、保護者など）について *

11。 2_4 合同進学説明会に参加する高校生・保護者・教職員などに質問したいこと

質問3 【取組2】加盟校の魅力を発信（探究学習など、高大連携の取組について、コンソHPでの情報発信）について、お聞かせください。

12。 3_1 貴学での高校生対象の「探究学習」に関する高大連携の取組について *

1 つだけマークしてください。

☐ A 実施している

☐ B 実施していない

☐ C 検討中

13。 3_2 上記質問で「実施している」と場合はその内容を簡単にご紹介ください。(URL等の添付でも可)

14. 3_3 大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページ上で、貴学の探究学習に関するお問い合わせ先、大学HP等の掲載について *

1 つだけマークしてください。

- ☐ A 希望する
- ☐ B 希望しない
- ☐ C 内容を相談の上、検討したい
- ☐ その他: _____

15. 3_4 上記質問で「A 希望する」場合は以下の連絡先をご記入下さい。

- ①担当部署
- ②氏名
- ③メールアドレス
- ④電話番号
- ⑤HP URL

16. 3_5 大学コンソーシアムひょうご神戸のHP（note）上で、貴学の魅力の一つとして発信したい探究学習などの高大連携に関する取組事例があれば、紹介します。情報掲載（記事提供または事務局による取材）を希望しますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ A 希望する
- ☐ B 希望しない
- ☐ C 内容相談の上、検討したい

17. 質問4.上記以外に、大学コンソーシアムひょうご神戸の高大連携委員会へのご提案・相談などがあれば、お書きください。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中水・谷本

E-mail info@consortium-hyogo.jp TEL：078-271-0233

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期
(2022年度～2026年度)

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の中長期計画Ⅰ期(2017年4月1日～2022年3月31日)における取組内容とその成果を継承して、中長期計画Ⅱ期(2022年4月1日～2027年3月31日)を策定する。さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多元的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多元的な教育活動に寄与する計画とする。

[ビジョン・目標]

大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

兵庫県内の大学が連携して、地方自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発するとともに、人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する大学コンソーシアムひょうご神戸の取組を通じて、兵庫県と加盟校の魅力を県内外に発信する。兵庫県内の若者人口の増加、大学教育・地域創生への貢献が明確に可視化される活動を展開する。

大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる場をめざす。

大学コンソーシアムひょうご神戸が、大学間連携組織の特徴を生かして、産官学連携による人材育成・教育支援に取り組み、地域に貢献できるような大学プラットフォームを構築する。そのために以下の4つの柱での取組事業を実施する。

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携
2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援
3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供
4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

[体制] プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



加盟校数、賛助会員数は、2024 年4月現在

[具体的な取り組み内容]

上記の課題を踏まえ、中長期的な目標を設定し、①情報の共有と発信②人的交流の促進③ステークホルダー（地方自治体・企業・地域・高等学校等）との有機的連携の3つを重点項目として取り組む。

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携

①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上

（加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携）

【取組1】大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施

（目標）本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上

（内容）兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業者の『県内企業への就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足があると考えられる。県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。

（担当）キャリア部門

【取組2】県内企業・団体等の魅力を情報発信

（目標）情報公開企業・団体数120社以上

（内容）地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公表するとともに、兵庫県内の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。

（担当）キャリア部門

②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続

【取組1】大学と高等学校の意見交換会の実施

（目標）各年参加校数20校以上

（内容）教育委員会等と連携して兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行い、兵庫県下の高大連携を深める。

（担当）高大連携部門

【取組2】加盟校の魅力を情報発信

（目標）各年情報提供先数 高等学校等 200 か所以上

（内容）加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。

（担当）高大連携部門

③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進

【取組1】テーマ型の学生交流プロジェクトの実施

（目標）各年参加者数 50 名以上

（内容）他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクトを実施する。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

（担当）学生交流部門

【取組2】加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施

（目標）情報公開数 200 取組以上

（内容）加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公開する。各年、継続的に事例紹介を重ねることにより、本計画期間内で 200 取組以上を紹介する。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。

（担当）学生交流部門

2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援

④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進

【取組1】留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施

（目標）本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の 70%以上。

（内容）“ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル人材育成を目指した事業を展開する。プラットフォームを活用した留学生就職促進事業として、大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの留学生の受入環境づくりを促進し、卒業後の県内企業への就職の動機付けを図る。

（担当）キャリア部門

⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進

【取組1】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施

（目標）本プログラムへの参加を通じて、国際理解が深まったことを実感する学生の割合
：参加学生の80%以上（期間中2回測定）

（内容）兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業（日本学生支援機構委託事業）において、大学間連携による国際交流の拠点を、兵庫国際交流会館を起点に大学キャンパス外の地域社会に形成することを推進する。留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。

（担当）国際交流部門

【取組2】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進

（目標）本プログラムへの参加を通じて、国際理解が深まったことを実感する学生の割合
：参加学生の80%以上（期間中2回測定）

（内容）大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを生かして、加盟校主催の国際交流イベントの情報を収集し、加盟校間の情報共有を行う。本計画期間内において、段階的に加盟校が主催する国際交流プログラムと連携することにより、大学の枠を超えた加盟校間の留学生・日本人学生等の交流を促進させる。

（担当）国際交流部門

3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供

⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進

【取組1】加盟校間でのFD・SD セミナーの公開

（目標）各年セミナー数5件以上

（内容）加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

（担当）FD・SD 部門

【取組2】FD・SD 情報交換会、セミナー等の開催

（目標）各年参加者数50名以上

（内容）加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

（担当）FD・SD 部門

⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応

【取組1】単位互換事業の実施

（目標）各年開放科目数10科目以上

（内容）加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。

（担当）教育連携・教務部門

【取組２】多様な学修機会の提供

（目標）各年プログラム数５件以上

（内容）加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、段階的に加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する（ICTを活用したコンテンツ、専門領域や分野横断型のプログラム等）。

（担当）教育連携・教務部門

⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進

【取組１】リカレント教育の普及促進に向けた取組

（目標）各年参加者数５０名以上

（内容）加盟校によるリカレント教育の推進・理解促進に向けたセミナー・情報交換会等を開催する。産官学で連携したリカレント教育推進に関するネットワークを構築する。

（担当）リカレント教育部門・企画運営委員会

【取組２】加盟校のリカレント教育に関する情報発信

（目標）各年１０校以上

（内容）大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページで加盟校が開講するリカレント教育に関する取組情報を発信する。

（担当）リカレント教育部門・企画運営委員会

4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成

【取組１】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築

（目標）大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充

（内容）兵庫県下で大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制を本計画期間内において、段階的に構築する。また、加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。

（担当）企画運営委員会

【取組２】緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築

（目標）緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築

（内容）感染症（新型コロナウイルス感染症等）や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、定期的に加盟校が蓄積する経験や知見の情報収集を行い、共有す

る。本計画期間内において、段階的に情報共有を重ねることにより、有事の際に速やかに情報共有・情報提供ができる体制の構築を目指す。

（担当）企画運営委員会

⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備

【取組１】加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

（目標）加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

（内容）加盟校教職員が大学間連携活動に積極的に参画できる事業運営体制を本計画期間内において、段階的に検討・構築する。同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進等のニーズに合わせて、事業運営体制の整備に取り組む。

（担当）企画運営委員会

上記の中長期計画に基づき、各年度毎の事業計画を別途作成し、各プログラムの具体的な活動指標を個別に定めて事業を推進する。なお、中長期計画を実施する計画ならびに担当については、年度毎の見直しにより変更することがある。

以 上

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会の運営に関する申し合わせ

企画運営委員会

1. 目的

この申し合わせは、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸(以下「コンソ」という。)定款第 38 条に基づき設置した事業委員会の運営について、必要な事項を定めるものとする。

2. 委員等

事業委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 正会員の教職員で、原則 2 名(教員 1 名、職員 1 名)。
- (2) 毎年度、第 1 回委員会開催までに委員をコンソ事務局に登録する。

3. 事業委員会の組織及び所管事項等

- (1) 事業委員会は、委員長校と副委員長校を置く。ただし、副委員長校は複数校置くことができる。
- (2) 委員長校は、副委員長校と連携し、事業計画の策定、事業委員会の招集、審議等、行う。
- (3) 副委員長校は、委員長校を補佐し、委員長校が不在の場合は、職務を代行する。

3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

- (1) 任期は 2 年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないように配慮する。
- (2) 国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選抜制とし、キャリア委員会及び FD・SD 委員会の委員長校の選考は輪番制とする。
- (3) 6 事業委員会の副委員長校の選考は、選抜制とする。
- (4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選抜制】

- ① 選抜制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選抜することとする。
- ② 事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

【留意事項】

- ① 選抜制 4 事業委員会の正副委員長及び輪番制 2 事業委員会の委員長については、原則として、理事校が担当するものとする。ただし、理事会が認める場合、理事校以外の正会員が担当することができるものとする。
- ② 選抜制と輪番制では、輪番制を優先するものとする。
- ③ 1 大学が重複して正副委員長校を担当することがないように調整する。

【経過措置】

- ①委員長校及び副委員長校の選考方法については、2023 年度より選択制及び輪番制を導入する。
- ②委員長校及び副委員長校の任期については、2023 年度からの担当期間を原則として3 年間（2023 年度～2025 年度）とする。
- ③2026 年度～2027 年度の委員長校及び副委員長校については、過去の就任実績を鑑みて2025 年度後期に検討するものとする。

4. 事業委員会の任務

- (1)事業委員会は、理事会において決定された事業方針に則り、事業委員会内で事業の具体的な計画・実施・報告(自己評価)を行い、情報を共有する。

5. 事業委員会の招集・議事

- (1)事業委員会は、委員長が必要と認めたとき、又はそれぞれの事業委員会を構成する正会員の半数以上からの請求があったときに委員長が招集する。
- (2)事業委員会の委員長は、事業委員会の承認を経て、「正会員当たり原則2名の委員」に拘らず、計3名以上の者若しくは委員以外の者を出席させることができる。

6. 成立要件(定足数)

- (1)事業委員会は、それぞれの事業委員会を構成する正会員の過半数の出席をもって成立とする。
- (2)委員が欠席し、代理者が出席した場合は、その委員は出席したものとみなす。
- (3)「委任状」の制度は用いない。
- (4)事業委員会は、対面、オンライン、書面又は電磁的記録による会議方式によって開催する。

7. 議決権及び議決数

- (1)正会員あたり各1個の議決権を有し、議事は出席した正会員の過半数をもって決する。なお可否同数のときは委員長の決するところとする。

8. プログラム担当校

- (1)事業委員会において、必要に応じ、プログラムを主に担当するプログラム担当校を置くことができる。
- (2)プログラム担当校は、委員長校・副委員長校と相談のうえ、プログラムの計画、実施、報告(自己評価)を行う。
- (3)委員長校・副委員長校がプログラム担当校となることを妨げない。

9. 事業委員会事務局

- (1)事業委員会に関する事務は、コンソ事務局と事業委員会の事務局(委員長校・副委員長校)が連携して行う。

10. 改廃

- この申し合わせの改廃は、企画運営委員会の議を経て、理事会で決定する。

附則

この申し合わせは、2019 年4月1日から施行する。

附則

(1)この申し合わせは、2022 年4月 1 日から施行する。

(2)「3.委員長校、副委員長校」の任期について、2022 年度は、新たに任命された委員長校、副委員長校を含め 1 年とする。

附則

この申し合わせは、2023年4月 1 日から施行する。

以 上